

【E部門】

買い物へるぶサポート
プロジェクト

助成団体

NPO法人たすけ愛京築



be Orange



活動の様子

| 活動内容

認知症の人が商品を買うときさりげなく手伝ってくれる仕組みを
を考えている中で万引き問題に気付き、その言葉に代わる未払い
行動という言葉を広めることになりました。

｜活動実施による効果

(地域への影響や認知症当事者の方の変化など)

認知症当事者が買い物に行き、お金の支払いを忘れて品物を持ってくると、万引きという犯罪行為にされてしまう。コロナ禍前は、前頭側頭型の認知症当事者の反社会的行動として言われることが多くありましたが、他の認知症の方でもコロナ禍でソーシャルディスタンスで距離を置き、エコバックを持っていることで、レジ待ちをしている間に、お金を支払ったかどうかを忘れてしまいエコバックに商品を入れてしまうこともある事例がありどうすれば買物をし続けることが出来るのかという相談があった。

当事者にとって、自分で買い物をする事は、生活必需品を手に入れることだけではなく、日常生活における楽しみや貴重な社会参加となり、自分が出来ることを再確認する大切な機会になる。当事者の忘れることからしてしまう「未払い行動」は、まだまだ社会に十分理解されていないことから、当事者が捕まり、警察署で1日を過ごすことになったり、当事者や家族もお店に出入り禁止を言われたりということを耳にする。

福岡県若年認知症サポートセンターではそういう話を聞くたびに万引きという言葉に代わるものはないかと考えてきた。全国の有志で作る会で色々と話し合ってきてそこで代わる言葉として「未払い行動」という言葉はどうかと思った。シンポジウムを行うにあたり広報をしていく中で、当事者や家族の方からは、こんな言葉ができるのを待っていましたと言われた。

| 助成金の使用実績

助成額：500,000円

会議費 100,000円

交通費 200,000円

冊子作成費 150,000円

通信費 50,000円

合計 500,000円